

北教だより

第2回管内学力向上推進協議会を開催しました

1月30日(火)に各校の教務主任・課題研究主任を対象に第2回管内学力向上推進協議会を行いました。グループ協議では、それぞれの学校での授業改善や学力向上に向けた取組の工夫について活発な話し合いがなされました。各グループの協議内容を整理しましたので、各校の学校改善プランを振り返り、今年度のまとめや次年度の計画の参考にしてください。

【成果の見られた手立て】

1 授業改善のための校内研修

(1) 相互授業参観

- ・一定期間の中での参観
(年度内に1~2週間やひと月程度で計画、年間を通しての一人一授業など)
- ・授業の視点を共通化・焦点化した短時間での参観
- ・撮影した授業動画を見ながら、放課後・空き時間等で短時間での協議
- ・視点を示した参観シートに記入後、全体での共有

(2) 教員のスキルアップ研修 ※オンデマンド型での校内研修もあり

- ・ICT支援員による研修(他校での取組や使い方についての資料の提供も含む)
- ・教員相互の研修(ICT・話し合いの仕方等、各教師の得意分野でのミニ研修の実施)
- ・若手教員に対する管理職等ベテラン教員の師範授業やT2としての支援



2 学力向上のための取組

(1) 主体的な学びの工夫

- ① 授業改善: 単元のまとまりを見通した学習(導入の工夫、ゴール・評価の共有、振り返り)
- ② アウトプットの機会を設定した授業: 対話、表現の場の設定(既習の知識・技能の活用)
- ③ ICTの効果的な活用: 資料の提示、児童生徒全員の学習内容や意見の共有、児童生徒の活動の記録、振り返り等

(2) 基礎的・基本的な知識・技能の定着の工夫

- ① 補充学習: フォローアップ問題の活用、国立教育政策研究所のHPの活用
全国学力・学習状況調査や学力診断のためのテスト問題の活用
- ② 習熟度別・少人数指導: 必要感のある教科・単元、学年(例 5年算数)等を焦点化し実施
管理職・担任外による習熟度別・少人数別指導の実施

(3) 家庭学習の工夫

- 主体的に取り組めるような工夫
 - ・自主学習への転換(やりたい・やろう) = 職員間や児童生徒との「自主学習の意義」の共有
 - ・タブレットの活用: 配信、採点、提出確認、意見の集約

(4) テストの在り方

- 学校や児童生徒の実態に応じて必要性について校内で十分に検討し、各種テストを行う際には意義や取り組み方等を生徒と共通理解して行う。

【各学校で予定されている年度内に行う学力向上の手立て】

- 全国学力・学習状況調査や学力診断のためのテストにおける自校の課題となる問題の分析/補充
- 基礎的・基本的な知識・技能のための補充(家庭や学校での補充の時間等の設定)
- 授業改善についての研修(各自の振り返り、相互授業参観の検証、意識調査など)
- 学校課題研究の見直しと次年度の計画(各自の実践についての振り返り及び全体での共有)
- 基礎的・基本的な知識・技能の定着の取組に関する見直し、計画(習熟度別学習、家庭学習)
自校の課題に対する年度内の取組を確実に行っていただき、次年度の児童生徒のスムーズな学びにつなげていただきますようお願いいたします。